

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

AIはあくまで機械、根本的に自動化装置の枠から出ない 安宅 和人 (慶応大学環境情報学部教授)

1. 生成系AIが情報の世界を一変させようとしているが、従来の検索技術の流れとは全く異なるすごい変化が起きている。まず入力の仕事が激変した。ChatGPTやBardのような生成系対話AIは、あいまいな質問であっても自然な回答を出せる。これまで「検索」が出せたのは、もっぱら答えがわかる質問だった。一方、生成系AIは非常に入り組んだ複合的な問いに対応することができる。
2. 人間側に求められる力は、意味のある問いを立てること。出力された答えを正しく評価する、といった力だ。そうした能力を高めるうえでは、情報を統合して理解・識別する「知覚」の深さと質が最も肝心だと思う。AIは、意志があるように振り舞わせることができるが、あくまで機械。AIは根本的に自動化装置の枠から出ることはない。
3. 私たちがイラつくような状況でも、AIは実に淡々と作業をする。これがAIの醍醐味だ。人間はこれまでずっと、煩惱から解放される方法や、心の平静を保つ方法を追い求めてきたが、AIはそれを実現している。しかし、AIがどれだけ進歩しても、意志を埋め込むべきではない。そもそも、そんなことをしたら使いにくくなるでしょう。

(参考:「週刊東洋経済」2023年7月29日号)

経営者のための理念・哲学

「人皆、人に忍びざるの心有り」『孟子』

田口 佳史 (東洋思想研究家)

1. 「性善説」は孟子の最も根幹を為す論説ですが、人間は善なる者とするその根拠はと問われれば、この名言が出てきます。孟子は次のように言います。「人には皆『忍びざる心』、要するに他人の不幸や命の危機を平気で見て、あるいは見て見ぬふりをすることには耐えられない心がある」。人間に生まれてきた者には、人間の証として『忍びざる心』があるといえます。
2. これに対して荀子は、「性悪説」を説きました。荀子の言う「性悪説」は、人間には自分を律する自律力が無いということです。ではどうしたらよいのか。そこで出てくるのが他動的に、律すること。つまり「礼」をもって秩序を正していくことなどを主張しました。荀子の弟子の韓非子になると「法」により人間を律することが確立されます。「法家思想」です。

(参考:「致知」2023年10月号)

情報通信業界の動向

ずさん富士通へ異例の行政指導

1. 総務省は6月30日、サイバー攻撃を受けた富士通に対し、異例の行政指導に踏み切った。「通信の秘密」を守る企業であるにもかかわらず、サイバー攻撃対策がずさんだったからだ。総務省が問題視したのは、富士通の法人向けインターネット回線サービス「フェニックス」が外部から不正侵入を受け、利用企業の通信情報が外部に流出した件についてである。
2. 同サービスを利用する企業などの通信情報が、2022年3月から同年11月の約8ヶ月間、断続的に合計数十時間、外部へ漏洩していたことが分かった。ここにきて政府が、通信サービスやクラウドサービスなどインフラを担う企業に対し、ガバナンスが十分機能しているか問うケースが増えている。通信サービスやクラウドサービスは、国民生活や社会経済活動に欠かせない基盤として重要性が増しているからだ。

(参考:「日経ビジネス」2023年7月17日号)

古典に学ぶ

諸行無常とは「物事はすべて移りゆく」こと

1. 「でも、変わるのとはなかなか難しい」と思う人は、「諸行無常」という言葉を思い出して下さい。これは仏教の根本にある大事な言葉で、「物事はすべて移りゆく」という真理を表わしています。
2. 「無常」という言葉に、ネガティブなイメージを持つ人もいるのかもしれませんが、それは一面しか捉えていない見方です。赤ちゃんが成長して立って歩き出す過程も変化ですから、「無常」だといえます。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)